

## 町の現状について

(第3回参考資料2に下線部分を追記)

- 老年（65歳以上）人口割合は県内の市町村でもっとも低いが、高齢化が今後進んでいく見通し（国立社会保障・人口問題研究所（平成25年3月推計）によれば、2040年の老年人口構成比は30.4%にまで増加と推計。この間、75歳以上人口は2025年には2,035人（H29.4.1現在で1,675人）、90歳以上人口は2040年には451人（H29.4.1現在で225人）になると推計。）

[人口構成（H29.4.1現在）]

・人口 <sup>注1</sup>	14,204人	
・年少人口（構成比） <sup>注2</sup>	2,070人（15.0%）	[県平均：11.8%]
・生産年齢人口（構成比） <sup>注2</sup>	8,270人（59.8%）	[県平均：57.1%]
・老年人口（構成比） <sup>注2</sup>	3,491人（25.2%）	[県平均：31.1%]

注1 [資料出所] 住民基本台帳

注2 [資料出所] 新潟県推計人口（平成29年4月28日新潟県公表）

- 個人の生活スタイルや職業選択の変化、町外からの人口移動により、核家族化が進み、高齢者だけで構成される世帯が増加している。

[世帯構成]

・核家族世帯 <sup>注3</sup>	1,599世帯（H22年）	→	2,236世帯（H27年）
・ひとり親世帯 <sup>注3</sup>	411世帯（H22年）	→	419世帯（H27年）
・老人世帯 <sup>注4</sup>	377世帯（H22年）	→	568世帯（H28年）
	(9.12%)		(12.66%)

注3 [資料出所] 国勢調査 注4 [資料出所] 聖籠町調査

- 一般病床60床、療養病床180床、手術室、人口透析ベッド20床を有する新潟聖籠病院が平成28年9月に開業したことにより、県立新発田病院との地域医療連携のもと、町内における医療体制が充実されてきている。
- 平成28年度における町の第1号被保険者（65歳以上）における要介護（要支援）認定率は16.7%（新潟県平均：18.6%）。70代前半までの要介護（要支援）認定率は10%未満であるが、それ以降の年代からは介護が必要になる割合が上昇する。

【要介護認定率（平成 29 年 3 月末現在）】

	65～74 歳	75 歳以上
認定者（率）	58 人（3.3%）	512 人（30.8%）

【町における介護サービス】

サービスの種類	事業所 （施設）数	定員（人） （事業所（施設） 計）
ケアマネジメント体制		
介護居宅支援事業所①	3	-
介護予防支援事業所②	1	-
居宅サービス		
訪問介護③	2	-
通所介護④	4	94
通所リハビリテーション⑤	1	20
短期入所生活介護⑥	3	118
訪問入浴介護⑦	1	-
訪問看護⑧	1	-
施設サービス		
介護老人福祉施設⑨	2	130
介護老人保健施設⑩	1	119
有料老人ホーム⑪	1	80（室）
地域密着型サービス		
グループホーム⑫	1	18
小規模多機能型居宅介護⑬	1	登録定員 29

- ① ケアマネージャーがケアプランの作成を行います。（要介護者）
- ② 地域包括支援センターが介護予防ケアプランの作成を行います。（要支援者）
- ③ ホームヘルパーが訪問し、身体介護（食事・排泄等）及び生活援助（掃除・洗濯等）を行います。
- ④ 通所介護施設に通い、日帰りで入浴や食事の提供や日常生活上の介護を受けます。（デイサービス）
- ⑤ 医療機関や介護老人保健施設に通い、日帰りでリハビリテーションを受けます。
- ⑥ 短期間、介護老人保健施設などに入所して、日常生活上の介護等を受けます。（ショートステイ）
- ⑦ 浴槽を積んだ入浴車などが訪問し、入浴の介助を行います。

- ⑧ 看護師などが自宅を訪問し、病状の観察や療養上のお世話をを行います。
- ⑨ 常に介護が必要で、自宅での介護が難しい方が入所して、日常生活の介助を受けます。(特別養護老人ホーム)
- ⑩ 病状が安定し、リハビリテーションが必要な方が入所して、介護や機能訓練を受けます。
- ⑪ 高齢者向けの居住施設に入所し、食事や入浴などの介護や機能訓練及び療養上の世話を受けます。
- ⑫ 認知症の高齢者が少人数で共同生活をしながら、家庭的な雰囲気の中で介護や機能訓練を受けます。
- ⑬ 通所サービスを中心に訪問や泊まりを組み合わせ、本人の心身の状況や希望に応じ、入浴、排泄、食事などの介護や機能訓練を受けます。

- 老年人口割合が増加する一方で、15歳から64歳までの生産年齢人口は対策を講じない場合、今後減少する見通し(国立社会保障・人口問題研究所(平成25年3月推計)によれば、2040年には2015年比で15%減少と推計)。
- 聖籠町人口ビジョン まち・ひと・しごと創生総合戦略では2040年における人口14,219人の維持を目標としている。(国立社会保障・人口問題研究所(平成25年3月推計)によれば、対策を講じない場合は2040年には12,338人まで減少と推計)
- 平成28年度雇用状況調査結果(聖籠町実施)によると、東港・位守町地域に所在する事業所の総雇用者のうち、聖籠町内在住者は14.0%(867人)、新潟市内在住者は43.2%(2,691人)、新発田市内在住者は29.5%(1,832人)となっている。

[平成28年度雇用状況調査]

- 1 調査基準日 平成28年10月1日
- 2 調査方法 聖籠町内にある事業所に調査用紙を郵送
- 3 回答率 76.1% ( 回答数134社 / 調査依頼数176社 )